

土浦一高海外研修 (SEG) 2015 報告

1. 研修の概要

参加者:生徒 38 名、引率教員 3 名

研修期間:平成 27(2015)年 3 月 17(土)~27 日(火)

訪問都市:ワシントン DC, ボストン, ニューヨーク



自由の女神の島にて



航空宇宙博物館別館にて

2. 生徒選考および事前研修

- ・自然科学に関する論文の考察および小論文(10・11 月)
- ・リバネスさんに生物模倣に関するプレゼンテーション作成・発表(1 月)
- ・プレゼンテーションの最終確認(3 月)
- ・海外研修専門業者による事前研修会(2 月)

3. 旅程

3/17(1 日目) 土浦~ワシントン

- ・出発式の後、多くの先生方の見送りを受けて出発した。

3/18(2 日目) ワシントン研修 市内見学・航空宇宙博物館別館・日本大使館

- ・市内見学でホワイトハウス、リンカーン記念堂などを巡りアメリカの歴史を学んだ
- ・航空宇宙博物館別館ではスペースシャトルやゼロ戦などを見て、飛行機の歴史を学んだ。
- ・日本大使館では国際情勢や外交についての講演を受け、質疑応答ではたくさんの質問がでた。



日本大使館にて



硫黄島の碑にて

3/19(3 日目) スミソニアン博物館

- ・自分たちで計画をたて、班別に研修した。自然史博物館や航空宇宙博物館、ホロコースト博物館などを回った。
- ・日本にはないようなスケールの大きさで、圧倒された。

3/20(4 日目) ウッズホール海洋生物研究所

- ・深海調査の道具や方法、研究施設を見学した。単一の機関として世界最多のノーベル賞受賞者を輩出している研究所であった。

3/21(5 日目) マサチューセッツ工科大学研究室訪問

- ・日本人学生の案内のもと MIT を紹介してくれた。ほとんどの研究室がガラス張りで見えるようになっていて開放的だった。Hack と呼ばれる手のこんだいたずらが行われていておもしろかった。

3/22(6 日目) マサチューセッツ工科大学研究室訪問

- ・血管の物質の動き方を計算し、癌の予防について研究していた。膨大な計算があつて圧倒された。趣味としてお菓子づくりもしていて、さまざまな刺激をうけた。



3/23(7 日目) Le Laboratoire ・カープ博士研究所

・Le Laboratoire はラボとアトリエが混ざった新しいタイプの研究室だった。周りの壁はすべてホワイトボードになっていて、アイデアが思いつきやすいような設計だった。アイデアが開発に至るまでのプロセスを学び、実際にアイデアから模型づくりまでを体験した。非常に刺激を受けた研究室だった。

- ・カープ博士研究所では、博士に講演をしていただき、私たちがプレゼンテーションを行った。博士は動物の仕組みを医療に応用する世界最先端の研究に取り組んでおり、さまざまな質問が飛び交った。



カープ研究室の学生の方々と…プレゼンが終わりほっと一息。

3/24(8 日目) ボストン市内見学

- ・ボストンのフリーダムトレイルは、アメリカ独立にゆかりのある施設を巡る研修コースである。自分たち地図を頼りに歩きながら、アメリカ独立の歴史を追体験するいい研修となった。
- ・「クインシーマーケット」というボストンのショッピングモールに行った。現地の人と交流することができた。

3/25(9 日目) 国連本部・自由の女神・グランドゼロ・タイムズスクエア

- ・自由の女神や、同時多発テロの現場となったグランドゼロを訪れ、近現代におけるアメリカの情勢を実感することができた。グランドゼロでは戦争の恐怖を知ることができた。

3/26,27(10,11 日目) ニューヨーク〜帰国



国連本部にて



ハーバード大学にて

4 参加した生徒の感想

- ・今回で得たものをこれから生かしていきたい。
- ・科学などについて専門家から話をきくことができ、視野を広げることができた。
- ・将来の夢を明確にして、努力しようと思う。

